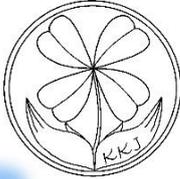


第17号



Kenkouji ニュース

2022 (令和4) 年10月25日
神奈川県公立小中学校等事務研究協議会
会長 渡辺 卓夫
広報部長 白鳥 世宇

神奈川県公立小中学校等事務研究協議会ニュース

2022年度第1回研修会を行いました！

2022年7月26日(火)、今年度第1回目の研修会が行われました。当初は大和市生涯学習センターを会場とした参集開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の流行拡大を受け、急遽開催方法をオンラインに変更しての開催となりました。

講師には横浜市立本郷中学校事務長の宮戸健さんを迎え、令和3年に行われた教職員等中央研修・事務職員研修(オンライン)に参加された際のお話をして頂きました。

神奈川県公立小中学校等事務研究協議会 第1回研修会

令和3年度教職員等中央研修
(NITSオンライン研修)
第3回事務職員研修報告

2022(令和4)年7月26日
横浜市立本郷中学校 宮戸 健



講義の内容としては、学校現場における「マネジメント」にはどのようなものがあるか、またそのマネジメントはどのように行うべきか。そしてその中で事務職員が学校運営に「参画する」場合の取り組み事例などが紹介されました。

講義の後は、休憩を挟んでグループ討議が行われました。グループ討議ではまず ZOOM のブレイクアウトルーム機能によって参加者が4～5人ずつに分けられ、その分かれたグループの中で講義を聞いての感想や自分がこの先仕事の中で実際に取り組みそうなことなどを話し合いました。

このグループ討議において印象的だったのは、紹介された取り組み事例の中にあつた「消耗品等の見える化」の注目度が高かつたことです。受講前は、「学校運営に参画」という言葉を難しく捉え、具体的にどんなことをすればいいかわからない参加者も多かつたようです。しかし、講義を聞いて「こんな身近なことでもいいんだ」と目から鱗が落ちる気持ちになつたとの声を多数いただきました。

学校の取組事例

(事務職員が核となり進めた取組事例)



職員室のレイアウト変更

職員同士がお互いの思いを知り、語り合うことで、新しいアイデアを生み出すことができる職員室となるよう、事務職員が中心となり教職員と協力し、教育目標である「たがいにひびき合う学校」を意識した職員室の環境づくりを実現。(横浜市立富士見台小学校)

【Before】



【After】

机配置を変更して、教職員の動線が中央に集まりやすいようにしたり、中央にコミュニケーションスペースを設けたりすることで、お互いの思いを知り、語り合いやすい環境に。



誰もが情報共有しやすいように、中央にモニターを設置。

(令和元年度 教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査結果より)

消耗品等の見える化

教師が授業ですぐに使用したい消耗品がどこにあるかわからず、**ものを探す時間を解消**するために、他校のアイデアを自校にも取り入れて消耗品の見える化。さらに消耗品の見える化を図ることで**在庫管理も容易になり**、教員にとっても事務職員にとってもWin-Winの関係を実現。(茨城県龍ヶ崎市内中学校)



配布物の見直し

事務職員の発案で、すべての配布物を子供たちに配るのではなく、リーフレットスタンドを活用し、必要性に応じて子供が情報を得る方法に変更し、先生たちの負担軽減を実現。(茨城県龍ヶ崎市内中学校)



12

今後はこの講義で学んだことを活かしつつ、学校事務を「つかさどる」者として校内業務の「マネジメント」ができるように頑張っていきたいと思えます。宮戸健さん、貴重なお話をどうもありがとうございました！

3.研修を受けての感想

・「マネジメント」って？

→まずは自分の仕事の内容を把握することから！

→周りの人の仕事の内容にも関心を持たりたいですね！

・学校事務職員は「一人職」ではあるが「ひとり」ではない。

・多様な視点を持つ。

→学校事務職員の視点を大事にしながらも、「教員の視点」「保護者の視点」「地域の方、市民の視点」も意識を。



◎第1回研修会参加者の方へ

当日参加した方、及び参加申し込みをしたものの当日参加ができなかった人を対象として、講義の内容を録画した動画を県公事研 web にて公開しています。7月15日付「第1回研修会開催 開催方法の変更について」の通知に記載されたIDとパスワードで県公事研 web にログインした後、左側のメニューから「県公事研研修会ルーム」⇒「2022年度 第1回」とお進みください。